

行政改革の主な取組と財政効果額

(下段は、第4次集中改革プラン策定時の見込み額)

改革実施項目	効果額（単位：百万円）						主な取組（見込み）	主な取組（実績）
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5か年計		
	実績額	実績額	実績額	実績額	実績額	実績額		
	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額		
(1) 協働によるまちづくりの推進								
①	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
A計	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
(2) 職員と組織の最適化								
①	194	420	651	632	-	1,897	○定員適正化計画の推進 など	R2職員数との比較 ※ ()内は前年度比 ○(R3) 正職員13人減 (13人減)、再任用フルタイム職員等3人減 (3人減) ○(R4) 正職員47人減 (34人減)、再任用フルタイム職員等9人減 (6人減) ○(R5) 正職員73人減 (26人減)、再任用フルタイム職員等13人減 (4人減) ○(R6) 正職員62人減 (11人増)、再任用フルタイム職員等27人減 (14人減)
	(93)	(162)	(247)	(328)	(361)	(1,192)		
B計	194	420	651	632	-	1,897		
	(93)	(162)	(247)	(328)	(361)	(1,192)		
(3) 事務事業、公共施設の見直し								
①	107	212	314	414	-	1,047	○事務事業の見直し など	○事務事業の見直し（経常的な一般行政経費に係る一般財源の減） ○(R3～) 市広報の発行回数の見直し（月2回→月1回） ○公用車の縮減（2台） ○(R4～) 学校給食調理業務の民間委託（真滝学校給食センター） ○市民センターの管理運営（指定管理者制度の導入） (R3) 5市民センター、(R4) 2市民センター、(R5) なし、(R6) 2市民センター
	(117)	(218)	(318)	(418)	(518)	(1,591)		
②	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
C計	107	212	314	414	0	1,047		
	(117)	(218)	(318)	(418)	(518)	(1,591)		
(4) 財政運営の健全化								
①	268	182	148	261	-	859	○市有財産の売却等 など	○企業版ふるさと納税の活用（12件） ○広告掲載事業の実施 ○市有財産の売却等 （土地22件、建物1件売却）
	(71)	(73)	(110)	(67)	(133)	(454)		
②	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
③	-	-	-	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
D計	268	182	148	261	0	859		
	(71)	(73)	(110)	(67)	(133)	(454)		

改革 実施 項目	効果額（単位：百万円）						主な取組 （見込み）	主な取組 （実績）
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5か年計		
	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額	実績額 見込額		
(5) ICT（情報通信技術）の活用								
①	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
E 計	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
職員削減の重複分 F	0 (0)	88 (32)	96 (32)	121 (32)	- (32)	305 (129)		
効果額 計(A+B +C+D+E -F)	569 (281)	725 (422)	1,017 (644)	1,186 (781)	- (980)	3,497 (3,108)		

※ 効果額は、100万円未満の数を四捨五入しているため、内訳と各計が一致しない場合があります。

※ 職員削減の重複分は、民間委託の推進や指定管理者制度の導入などによって削減された職員数の効果額が重複して計上されていることから、それを差し引くものです。

【参考】 ICTの活用による削減業務時間数

項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	主な取組
ICTを活用しなかった場合の想定される業務時間数	1,286 時間	1,413 時間	2,156 時間	2,969 時間	-	(RPA+AI-OCR) ○医療費助成給付申請受付業務 (AI) ○子育て施設入所調整事務、実費徴収補足給付申請受付業務 ○AI文字起こしレコーダーによる会議録等の自動作成
ICT活用後の業務時間数	968 時間	1,101 時間	1,714 時間	2,391 時間	-	(RPA) ○雨量自動入力事務 ○道路除雪費支払事務
削減業務時間数	318 時間	312 時間	442 時間	578 時間	-	

※ RPA（アールピーイー）：ソフトウェアロボット技術により、定型的な事務を自動化すること。一定のルールに従って単純作業を行うことができる。

※ AI-OCR（エーアイ・オーシーアール）：OCR（手書きや印刷された紙データを、スキャナやプリンタなどで読み取り、コンピュータが利用できるデジタル文字に変換する技術）にAI（人工知能）を搭載し、前後の文字や学習データから文字を連想することで、従来のOCRに比べ、より高い精度の文字認識を行うことができる。

※ AI（エーアイ）：人工知能。コンピュータを使い、学習・推論・判断など人間の知能の働きを人工的に実現すること。